

随意契約結果及び契約の内容

| | | | | | |
|-----------------------------|--|---|--------------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 業 務 の 名 称 | 令和5年度北九州港湾施設基本設計 | | | | |
| 業 務 概 要 | 業 務 名 称 | 業 務 内 容 | 単 位 | 数 量 | 摘 要 |
| | 港湾施設基本設計 | | | | |
| | 設計計画 | 設計計画 | 式 | 1 | |
| | 資料収集・整理 | 資料収集整理 性能規定の設定資料 維持管理方針の設定資料 | 式 式 式 | 1 1 1 | |
| | 設計条件 | 利用・自然条件整理 土質資料整理解析 概略構造形式の抽出 照査用震度算定 地震応答液化の判定 維持管理の検討 | 地点 式 式 地点 ケース 式 | 4 1 1 1 3 1 | |
| | 構造形式の抽出 | 比較構造形式の抽出 | ケース | 3 | |
| | 安定性の照査 | 永続状態及び変動状態の安定性の照査 | ケース | 3 | |
| | 構造諸元の決定 | 概算数量算定 概算工費算定 総合的な比較・検討 | ケース ケース ケース | 3 3 3 | |
| | 図面作成 | 図面作成 | 枚 | 6 | |
| | 資料作成 | 資料作成 | 式 | 1 | 3回 |
| | 協議・報告 | 協議・報告 | 回 | 4 | 事前協議1回 中間報告2回 最終報告1回 |
| | 照査 | 照査 | 式 | 1 | |
| | 成果物 | 業務完成図書作成 | 式 | 1 | |
| 契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地 | 分任支出負担行為担当官 九州地方整備局北九州港湾・空港整備事務所長 北原 政宏 九州地方整備局北九州港湾・空港整備事務所 北九州市門司区西海岸1-4-40 | | | | |
| 契約年月日 | 令和5年10月5日 | | | | |
| 契約業者名 | 中央復建コンサルタンツ株式会社九州支社 | | | | |
| 契約業者の住所 | 福岡市博多区祇園町4番61号 | | | | |
| 契約金額 | 34,518,000円(税込み) | | | | |
| 予定価格 | 34,518,000円(税込み) | | | | |

| | |
|-----------------------|---|
| <p>随意契約によることとした理由</p> | <p>本業務を的確かつ円滑に実施するためには、港湾における施設設計の知見を有するとともに、設計に必要となる条件を整理し、現地調査等によって得られる調査結果の有用性を判断可能な見識を備え、現地調査等を反映した設計業務を行う豊富な業務実績等を有している必要がある。</p> <p>以上のことから、プロポーザル方式により、契約内容並びに契約手続きを公示し、参加表明業者においては、予定技術者の経験・能力（技術資格、業務執行技術力、専門技術力）、発注者の要請に対する的確性・迅速性に関する本業務の実施体制及び本業務に関する特定テーマに対する技術提案の提出を求めるとともに、予定技術者へのヒアリングを行うことにより、専門技術力の確認、本業務の遂行能力等を評価したものである。</p> <p>建設コンサルタント等の特定手続きに基づく審査の結果、「基本設計を行うにあたって必要となる概略構造形式の抽出を行うにあたり、現地に適用可能と想定される構造形式の抽出の検討にあたっての課題と具体的対応方針」に関する提案を評価し、中央復建コンサルタンツ株式会社九州支社が最適であると判断されたことから、上記業者と会計法第29条の3第4項に基づき随意契約を行い、円滑な遂行を図るものである。</p> |
| <p>業 務 場 所</p> | <p>—</p> |
| <p>業 種 区 分</p> | <p>建設コンサルタント等</p> |
| <p>履 行 期 間 （ 自 ）</p> | <p>令和5年10月5日</p> |
| <p>履 行 期 間 （ 至 ）</p> | <p>令和6年3月22日</p> |
| <p>備 考</p> | <p></p> |

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。